

第8回景観・デザイン研究発表会 プログラム冊子 正誤表

冊子の内容に一部誤りがありました。発表者の成谷さんをはじめみなさんにご迷惑をおかけしたことをお詫びします。下記のとおり訂正いたします。

土木学会景観・デザイン委員会
景観・デザイン研究編集小委員会

■訂正箇所

9 ページ 正) セッション4 ■環境認知の手がかり 誤) セッション A4 ■空間把握手法

14 ページ 口頭発表概要

D:調査・研究部門 都市地域におけるまちかど空間

成谷博光 大阪工業大学大学院/田中一成 吉川眞

正)	現在、日本では景観的な特徴が乏しい公共空間が多くみられ、都市固有のイメージが失われてきている。しかし、来街者にとってこのような場所であっても、地域住民にとっては印象に残る空間が存在し、地域住民にとって比較的覚えられやすい空間になっている可能性がある。ここには、来街者が気づかない地域のランドマークが存在している可能性がある。本研究では、このような地域の「まちかど」となる可能性がある空間を数量的に記述することを試みる。ここではまず道路空間の開放感に着目して、交差点等を見ることができる距離と、見ることができる方向の数について分析を行っている。大阪市北区を対象として GIS を用いた分析の結果、まちかど空間の特徴を抽出する可能性をみいだしている。
誤)	大阪市をはじめとする日本の都市では人々は交通手段の一つとして自転車を多く利用している。近年では単なる短中距離移動の為の手段だけではなく、生活習慣病対策や交通渋滞の緩和、ポタリング、観光・サイクリングなど利用者のニーズの変化・高まりから自転車の利用形態は変化している。そこで本研究では自転車利用が多い大阪市を対象に自転車利用の新たな魅力を見出すことを試みている。その過程で、WEB サービスを利用することにより利用者の特徴や走行性の抽出・把握を行った。